

令和 6 年 3 月 2 7 日

りゅーとぴあ作成

公立劇場専属舞踊団「Noism Company Niigata」活動総括

注) Noism の活動シーズン (9 月～翌年 8 月) ではなく年度ごとに作成

1 設立の経緯等

(1) 設立時の目的

- ・新潟において、質の高い新たな舞踊作品を創造し、全国・世界に向けて発信する。
- ・地方から大都市に向けての新たな舞台作品の創造・発信のネットワークを形成する。
- ・活動を通して、新潟における舞踊の普及・育成などを図り、市民文化の振興に貢献する。

※令和 4 年 9 月よりレジデンシャル制度開始

(2) 沿革

- ・ 2004 年 (H16) 4 月に Noism 設立《金森穰の舞踊部門芸術監督の就任条件》
- ・ 2009 年 (H21) 9 月に研修生カンパニーの Noism2 設立
- ・ 設立当初より 3 年単位で活動期間を更新 (第 1 次期間のみ 3 年と 5 か月)
- ・ 2019 年 (H31) 3 月 1 日にりゅーとぴあホームページにて 1 年間 [2019.9～2020.8] の活動期間延長について公表を行った。
- ・ 2019 年 (R1) 6 月から 7 月の間、外部委員による検証会議を 2 回開催するとともに、舞踊・文化芸術・劇場に精通する有識者へのヒアリングを実施しこれまで得られた成果の評価・検証と課題の抽出を行った。
- ・ 2019 年 (R1) 9 月 26 日に検証会議等により示された課題に対する新たな活動方針について、市、りゅーとぴあ、金森芸術監督で協議の結果、合意書を締結した。
- ・ 2019 年 (R1) 9 月 27 日に検証会議等により示された改善すべき項目への取り組みを行うことによる、2 年間 [2020.9～2022.8] の活動期間の更新及び名称変更を含む今後の活動内容並びに新作公演制作について、市長、支配人、金森芸術監督同席のもと、記者発表を行った。
- ・ 2020 年 (R2) 11 月 19 日「Noism Company Niigata の活動評価に関する有識者会議」を開催し、Noism の令和元年度の活動状況についてのりゅーとぴあによる自己評価及び市による評価をもとに意見交換を行った。
- ・ 2020 年 (R2) 11 月 初めて実施した単年度ごとに行う活動評価について、有識者会議で

の意見交換を参考に「要求水準（評価指標）が達成されている」との評価を確定した。

- ・ 2021年（R3）3月 Noism 副芸術監督 井関佐和子が令和2年度（第71回）芸術選奨文部科学大臣賞を受賞
- ・ 2021年（R3）4月 Noism 芸術監督 金森穰が令和3年度春の褒章において紫綬褒章を受章
- ・ 2021年（R3）9月22日「Noism Company Niigata の活動評価に関する有識者会議」を開催し、Noism の17th シーズンの活動状況についてのりゅーとぴあによる自己評価及び市による評価をもとに意見交換を行った。
- ・ 2021年（R3）11月 17th シーズンの活動評価について、有識者会議での意見交換を参考に「要求水準（評価指標）が達成されている」との評価を確定した。
- ・ 2021年（R3）7月6日及び8月18日に「新潟市民芸術文化会館レジデンシャル制度に関する有識者会議」を開催し、りゅーとぴあにおけるレジデンシャル制度の在り方を検討するため意見交換を行った。
- ・ 2021年（R3）12月3日に市、新潟市芸術文化振興財団、金森穰の三者で記者会見を行い、新たに明文化したレジデンシャル制度に基づく事業の実施について合意が整ったことを発表した。
- ・ 2022年（R4）9月 金森穰が Noism 芸術総監督、井関佐和子が国際活動部門芸術監督、山田勇気が地域活動部門芸術監督に就任。
- ・ 2022年（R4）10月14日「Noism Company Niigata の活動評価に関する有識者会議」を開催し、Noism の18th シーズンの活動状況についてのりゅーとぴあによる自己評価及び市による評価をもとに意見交換を行った。
- ・ 2022年（R4）12月 18th シーズンの活動評価について、有識者会議での意見交換を参考に「要求水準（評価指標）が達成されている」との評価を確定した。

(3) りゅーとぴあのレジデンシャル制度（令和3年12月新潟市公表資料） ※令和4年9月完全実施

1 りゅーとぴあのレジデンシャル制度とは

公益財団法人新潟市芸術文化振興財団が実施主体となり、専属契約を締結したアーティストが本市に居住しながら、目標の実現に向けて、りゅーとぴあを拠点に年間を通して創造活動等を行い、創造された舞台芸術作品をりゅーとぴあ及び国内外において公演等を行うとともに、市民の文化芸術活動の振興に貢献する継続的な取り組みをいう。

2 レジデンシャル制度により期待できる効果

「アーティストが本市に居住している」ことにより様々な効果が期待できる。

- ・ 市民との日常的な交流が生まれ、豊かな感性や創造力が育まれる。
- ・ 作品等への国内外からの評価の高まりを通して、市民のシビックプライドが醸成される。
- ・ 福祉や教育などの他分野からの求めに柔軟に対応でき、より充実した協働事業が可能となる。
- ・ 地域で活動する様々な人材等に創造活動への関わりが生まれ、それらの方々の成長・発展につながる。
- ・ 文化芸術に携わるクリエイティブな人材やベンチャー企業等の集積が期待できる。
- ・ 地方都市が舞台芸術作品の創造・発信を行うことは、首都圏に過度に依存しない文化振興につながる。

3 レジデンシャル制度の目標

りゅーとぴあが長年培ってきた経験知や文化芸術関係者・団体との関係性を生かした質の高い舞台芸術作品の創造・発信による「プレゼンスの向上」と、市民との交流や舞台芸術の普及啓発、次代を担う人材育成などの「市民の文化芸術活動への支援」を車の両輪として取り組んでいく。

また、併せて、国内他館との交流や本市の舞台芸術活動を支える人材等の活用と育成を通じて、地方都市から舞台芸術を創造発信する取り組みの「全国の劇場・音楽堂への波及」を推進する。

目標	基本方針
りゅーとぴあ及び新潟市のプレゼンスの向上	◆質の高い舞台芸術作品の創造・発信 ◆本市独自の多様な文化を活用
市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加	◆市民や地元の様々な団体等との交流・連携 ◆舞台芸術の普及・啓発・人材の育成
地方都市から舞台芸術を創造・発信する取り組みの波及	◆国内他館との協力関係の構築 ◆舞台芸術に携わる本市のクリエイティブ人材等の活用

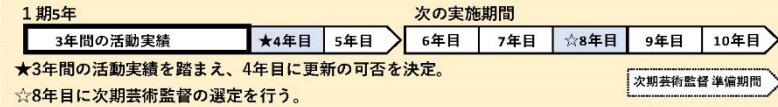
4 新潟市、芸文財団の役割分担

市及び芸文財団の果たす役割を明確にし、協力して制度の効果が多方面にもたらされるよう取り組む。

新潟市	◆目標・基本方針の設定 ◆活動拠点及び活動費用の一部を継続的に支援 ◆市の施策への有効活用
(公財)新潟市芸術文化振興財団	◆レジデンシャル事業の実施体制の構築 ◆レジデンシャル事業の実施

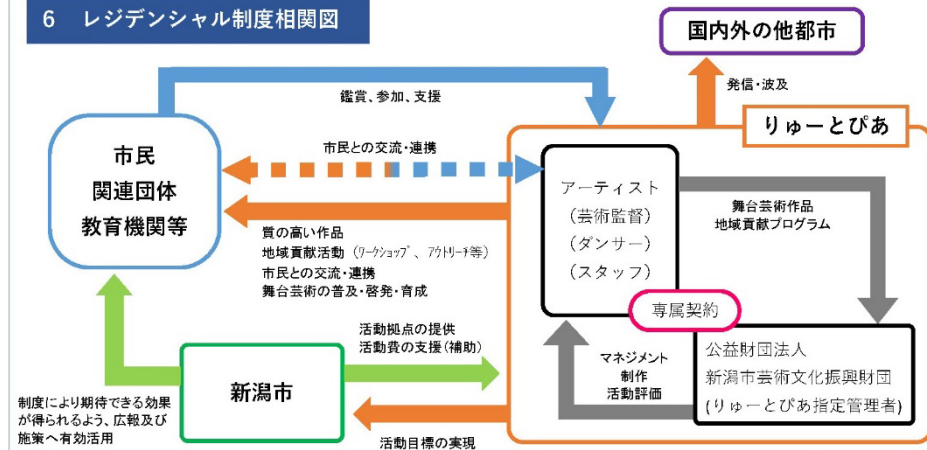
5 活動形態等

- レジデンシャル芸術監督の任期
1期5年以内（これまでは1期3年）
- レジデンシャル芸術監督の上限年数
2期10年を上限（これまでは設定なし）
- 1年ごとの事業評価
アウトカム指標を定め、1年ごとに芸文財団による自己評価を行った後、市及び外部有識者からの意見聴取を経て事業評価を行い、結果を公表します。（これまではアウトプットにより評価）
- 評価指標の設定
アウトカム指標を定める。（これまではアウトカム指標の設定なし）
- レジデンシャル芸術監督の任期更新の判断方法
3年間の事業評価を踏まえ、4年目（最終年の1年以上前）に、市及び外部有識者からの意見を参考に芸文財団で決定。なお、更新した場合、8年目に次期芸術監督の選定を行う。



- レジデンシャル制度の検証と改善
制度を持続的に発展・成熟させるために、制度の成果と課題についてレジデンシャル芸術監督の任期更新及び次期レジデンシャル芸術監督選定の際に検証を行い、芸文財団と協議のうえ改善を図る。

6 レジデンシャル制度関連図



2 事業費等

(1) 事業費と財源の推移

(単位:千円)

		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
事業費		151,369	121,150	87,349	122,205	91,452	111,025	107,418
財源内訳	入場料	36,698	32,266	-	-	17,727	15,723	9,364
	公演料	35,400	20,643	-	-	-	13,512	15,791
	助成金等	5,000	22,000	34,700	14,674	9,542	9,000	16,817
	協賛その他	5,233	12,569	17,020	50,957	14,519	19,583	12,110
	市補助金	69,038	33,672	35,629	56,574	49,664	53,207	53,336
	(補助率)	(45.61%)	(27.79%)	(40.79%)	(46.29%)	(54.31%)	(47.92%)	(49.65%)

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
事業費		102,311	114,918	105,714	119,039	143,147	124,079	109,388
財源内訳	入場料	6,248	10,539	19,675	14,671	12,697	20,842	16,242
	公演料	22,899	17,658	10,984	17,176	47,480	24,148	12,415
	助成金等	17,539	29,773	29,819	27,490	25,100	23,100	26,101
	協賛その他	3,535	4,273	3,696	6,334	4,366	3,468	3,277
	市補助金	52,090	52,675	41,540	53,368	53,504	52,521	51,353
	(補助率)	(50.91%)	(45.84%)	(39.29%)	(44.83%)	(37.38%)	(42.33%)	(46.95%)

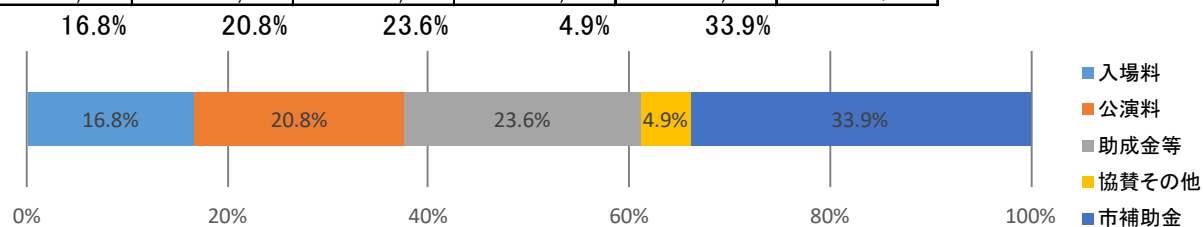
		H30	R1	R2	R3	R4	H16~R4合計	平均
事業費		128,559	114,997	90,213	125,253	137,115	2,206,701	116,142
財源内訳	入場料	18,939	19,258	6,410	23,352	23,015	303,666	17,863
	公演料	28,590	16,029	11,208	30,917	28,512	353,362	22,085
	助成金等	33,092	34,678	27,190	27,560	32,421	445,596	23,452
	協賛その他	4,254	5,596	7,240	6,950	6,662	191,642	10,086
	市補助金	43,684	39,436	38,166	36,474	46,505	912,436	48,023
	(補助率)	(33.98%)	(34.29%)	(42.31%)	(29.12%)	(33.92%)	(41.35%)	(41.35%)

※H18、19の入場料及び公演料、H20の公演料は協賛その他に含む

(2) 事業費と財源の内訳 (2022 (R4) 年度)

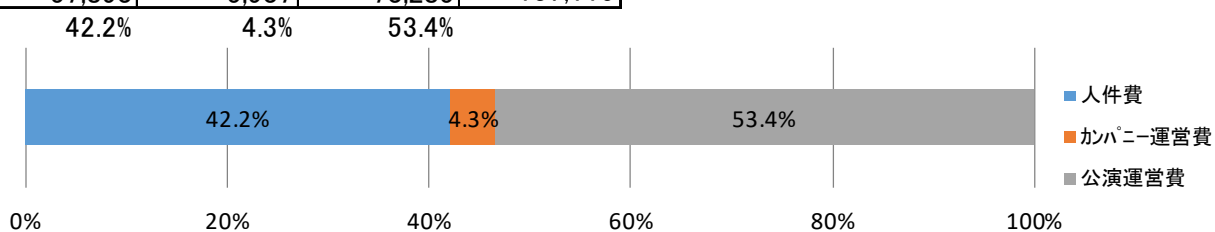
R4財源内訳

入場料	公演料	助成金等	協賛その他	市補助金	合計
23,015	28,512	32,421	6,662	46,505	137,115



R4事業費内訳

人件費	カンパニー運営費	公演運営費	合計
57,893	5,937	73,285	137,115



(3) 市補助金の考え方

りゅーとぴあが実施する文化事業に係る事業費から、チケット収入や国補助金などの自主財源を差し引き、なお不足する金額を対象に市が補助を行う。

3 これまでに得られた成果

(1) 定量的評価

①Noism メンバー

□これまでに Noism に所属したメンバーの人数

区 分		人数	備 考
ダンサー	Noism1	71 名	芸術（総）監督、副芸術監督、国際部門芸術監督、地域部門芸術監督、Noism1 リハーサル監督、Noism2 リハーサル監督含む
	Noism2	48 名	研修生含む
スタッフ		16 名	広報制作 1-2 名、制作運営 2-3 名、制作統括 1 名
計		135 名	市外出身者 114 名、海外出身者 10 名、新潟市出身 11 名

※Noism2 から Noism1（準メンバー含む）への昇格実績：20 名

Noism1 からスタッフへの転向：1 名

□メンバーの活動期間

区分	最長	最短	平均	備 考
Noism1	9 年	5 ヶ月	3.67 年	芸術（総）監督(19)、副（国際活動部門）芸術監督(19)、Noism1 リハ-ル（地域活動部門芸術）監督(13)を含む
Noism2	3 年	1 年	1.96 年	

□人材の輩出（Noism 退団者の活動）

主に海外で活躍	約 25 名
主に日本で活躍	約 35 名
自身のカンパニーを設立	2 名

②作品数（設立から 2023 年 3 月までの累計）

Noism1 ※	Noism2	Noism0	計
113 作品	50 作品	9 作品	172 作品

※Noism1・Noism2・Noism0 合同上演含む

③公演数（設立から2023年3月までの累計）

（単位：件）

	公演				その他				合計
	市内公演	国内公演	海外公演	小計	イベント 学校訪問	ワークショップ	柳都会	小計	
Noism1※	215	221	58	494	40	323	28	391	885
Noism2	69	9	-	78	77	-	-	77	155
計	284	230	58	572	117	323	28	468	1,040

※その他に講演会や写真展などの活動も実施

※Noism1・Noism2合同上演、Noism0を含む

□公演開催都市（新潟市を除く）

・国内 [25 都道府県 44 都市]

北海道、岩手県、宮城県、福島県、山形県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、富山県、石川県、新潟県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、山口県、高知県、福岡県、宮崎県

・海外 [11ヶ国 22 都市] ※台湾は中華人民共和国に含む

アメリカ合衆国、イタリア、カナダ、スペイン、大韓民国、中華人民共和国、チリ共和国、ブラジル連邦共和国、フランス共和国、ルーマニア、ロシア連邦、（台湾）

④観客数（2023年3月現在）

（単位：人）

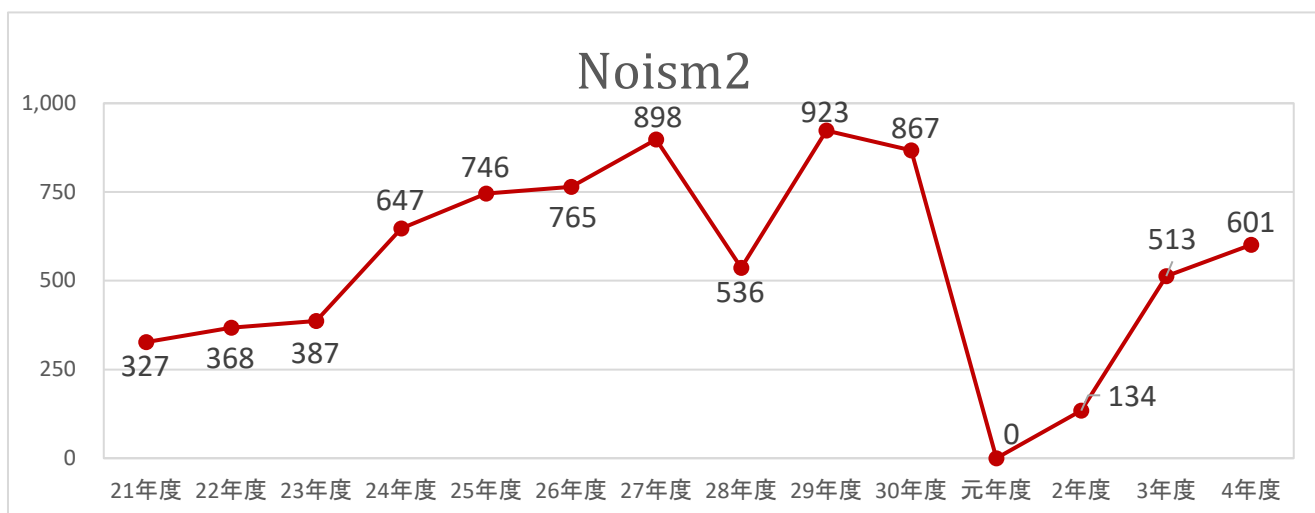
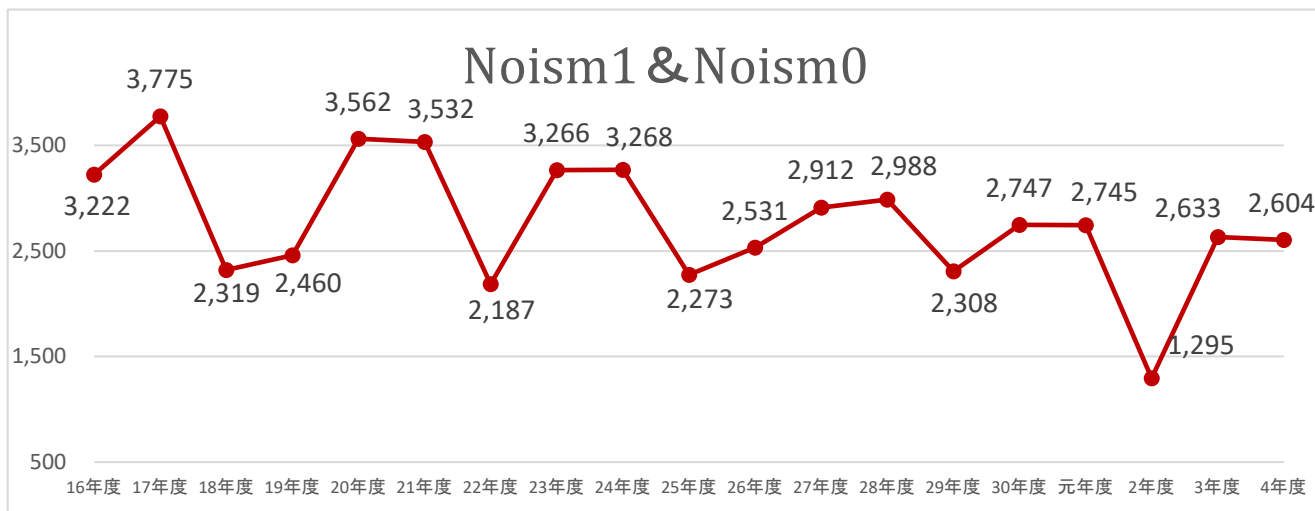
	公演				その他				合計
	市内公演	国内公演	海外公演	小計	イベント 学校訪問	ワークショップ	柳都会	小計	
Noism1※	50,811	84,492	30,905	166,208	40,722	6,419	2,784	49,925	216,133
Noism2	7,712	1,939	-	9,651	20,849	-	-	20,849	30,500
計	58,523	86,431	30,905	175,859	61,571	6,419	2,784	70,774	246,633

※講演会や写真展などの観客（入場者）数は未集計

※Noism1・Noism2合同上演、Noism0を含む

□入場者数の推移 [新潟公演]

(単位：人)



注：Noism2 は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月に開催予定であった定期公演 vol.12 を令和2年7月に延期したことから、令和元年度の入場者数が0人となっている。

⑤市内公演における市外客の割合（アンケート結果）

市外、県外からの観客の割合は、過去の平均で約28%であり、りゅーとぴあ劇場での公演を想定した場合、定員868人のうち242人が市外からの観客と推定できる。

年度	公演名	公演日	回収数	市外観客割合		劇場1公演あたり市外観客数(推計)	
				市内	市外	市内	市外
H27	Noism1近代童話劇シリーズvol.1『箱入り娘』	2015/6/6～7 他	89	76%	24%	660人	208人
	Noism2定期公演	2015/12/11～13	19	74%	26%	642人	226人
	劇的舞踊『カルメン』	2016/2/19～21	67	69%	31%	599人	269人
	計		175	73%	27%		
H28	劇的舞踊『ラ・バヤデールー幻の国』	2016/6/17～19	124	65%	35%	564人	304人
	Noism2定期公演	2016/12/16～18	54	72%	28%	625人	243人
	Noism1『マッチ売りの話』+『passacaglia』	2017/1/20～22	81	69%	31%	599人	269人
	計		259	68%	32%		
H29	Noism1『Liebestod』『Painted Desert』	2017/5/26～28	74	74%	26%	642人	226人
	Noism2特別公演2017	2017/6/23～25	27	56%	44%	486人	382人
	Noism1『NINA-物質化する生け贄』	2017/12/15～17	152	70%	30%	608人	260人
	Noism2定期公演	2018/1/26～28	30	60%	40%	521人	347人
	計		283	69%	31%		
H30	劇的舞踊『ROMEO & JULIETS』	2018/7/6～8	178	79%	21%	686人	182人
	Noism2特別公演『ゾーン』	2018/7/28～29	58	74%	26%	642人	226人
	実験舞踊『R.O.OM』/『鏡の中の鏡』	2019/1～2	191	63%	37%	547人	321人
	Noism2定期公演	2019/3/15～17	72	69%	31%	599人	269人
	計		499	71%	29%		
R1	15周年記念公演 Mirroring Memories/Fratres I	2019/7/19～21	283	73%	27%	634人	234人
	森優貴/金森穰 Double Bill	2019/12/13～15	223	66%	34%	573人	295人
	Noism2定期公演【※コロナにより延期】	2020/3/6～8					
	計		506	70%	30%		
R2	Noism2定期公演	2020/7/10～12	118	69%	31%	599人	269人
	実験舞踊『春の祭典』プレビュー公演	2020/8/27～28	344	68%	32%	590人	278人
	Duplex Noism0/Noism1	2021/1～2	482	81%	19%	703人	165人
	Noism1メンバー振付公演	2021/3/27～28	118	72%	28%	625人	243人
	計		1062	74%	26%		
R3	Noism2定期公演	2021/4/22～24	424	78%	22%	677人	191人
	『春の祭典』	2021/7/2～4	1014	75%	25%	651人	217人
	Noism0/Noism1「境界」	2021/12/17～19	653	80%	20%	694人	174人
	Noism1メンバー振付公演	2022/2/5～6	207	79%	21%	686人	182人
	計		2298	77%	23%		
R4	Noism2定期公演	2022/5/21～22	428	74%	26%	642人	226人
	Noism×鼓童『鬼』	2022/7/1～3	1089	74%	26%	642人	226人
	Der Wanderer-さすらい人	2022/1/20-2/4	281	79%	21%	686人	182人
	計		1798	75%	25%		
平成27年～令和4年の平均				72%	28%	626人	242人

劇場座席数 868席

⑥団体協賛及び個人協賛の実績

活動支援実績

年度	法人等の団体			個人		合計	備考
	金額	物品・サービス提供 (金額換算)	件数	金額	件数		
平成22年	400,000	※1 390,000	2	120,000	5	910,000	寄付金
平成23年	1,400,000	※1 91,000	5	260,000	20	1,751,000	寄付金
平成24年	1,600,000	0	5	410,000	27	2,010,000	寄付金
平成25年	1,600,000	0	6	490,000	30	2,090,000	寄付金
平成26年	2,500,000	0	8	950,000	44	3,450,000	寄付金
平成27年	2,500,000	0	8	840,000	44	3,340,000	寄付金
平成28年	2,100,000	0	6	820,000	44	2,920,000	寄付金
平成29年	1,900,000	※2 600,000	8	880,000	46	3,380,000	寄付金
平成30年	2,033,334	※2 600,000	9	1,246,701	96	3,880,035	事業収益
令和元年	2,233,333	※2 1,200,000	9	2,440,015	162	5,873,348	事業収益
令和2年	1,466,662	※2 1,200,000	8	2,445,701	180	5,112,363	事業収益
令和3年	1,716,670	※2 1,200,000	8	2,502,566	162	5,419,236	事業収益
令和4年	2,275,000	※2 1,200,000	11	2,452,485	145	5,927,485	事業収益

※1 シューズ等の商品提供について、金額換算。

※2 会報誌への広告掲載・CM上映などのサービス提供／トレーニング機器使用などのサービス提供について口数換算。

寄付金

年度	法人等の団体			個人		合計	備考
	金額	物品・サービス提供 (金額換算)	件数	金額	件数		
平成30年				378,350	21	378,350	
令和元年				341,200	38	341,200	
令和2年				1,313,000	47	1,313,000	
令和3年	300,000			884,000	41	1,184,000	
令和4年				706,000	27	706,000	

⑦経済波及効果

令和4年度新規需要額（事業費総額）：137百万円

経済波及効果額※：230百万円〔対個人サービス部門〕

※総務省ホームページ掲載の「平成27年産業連関表による経済波及効果 簡単計算ツール」により算出

(2) 定性的評価

①新潟市及び「りゅーとぴあ」の国内外でのプレゼンスの向上

- ・ 国内唯一の劇場専属舞踊団
- ・ 世界的なダンサー、振付家である金森穰氏の知名度、指導力などが評価される
- ・ 2005年 りゅーとぴあが JAFRA アワード（総務大臣賞）を受賞
- ・ 2007年 金森穰氏が『芸術選奨文部科学大臣賞』を受賞
- ・ 2009年 Noism が『第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞』を受賞
- ・ 2012年 本市が文化芸術創造都市部門文化庁長官表彰を受賞
- ・ 2018年 井関佐和子氏が『第38回ニムラ舞踊賞』を受賞
- ・ 2018年 金森穰氏が『第60回毎日芸術賞』を受賞
- ・ 2021年 金森穰氏が『第15回日本ダンスフォーラム賞 大賞』を受賞
- ・ 2021年 井関佐和子氏が『令和2年度（第71回）芸術選奨文部科学大臣賞』を受賞
- ・ 2021年 金森穰氏が令和3年度春の褒章において『紫綬褒章』を受章（他多数の受賞歴あり）
- ・ 全国で12館のみが対象となっている文化庁補助金「劇場・音楽堂等機能強化推進事業（総合支援）」を平成30年度から5年、令和5年度から更に5年と2期連続で5年採択を受けている大きな要因の一つ

②教育などの他分野や地域との連携

- ・ 高校ダンス部の活躍など地域の文化活動の活性化に寄与
- ・ 柳都会や公演終了後のアフタートークによる鑑賞者との交流
- ・ 中学校出前公演を実施（新潟市事業）
- ・ ワークショップなどを実施
- ・ 新潟市洋舞踊協会第9回記念合同公演に金森穰氏が演出振付を行うとともに、Noism メンバーが出演
- ・ 視覚障がい者向けワークショップを開催
- ・ 市民のためのオープンクラスを開講
- ・ 舞踊アウトリーチ事業を実施（小学校）